

安芸広域 循環型社会形成推進地域計画

安芸広域市町村圏事務組合

室戸市

安芸市

東洋町

奈半利町

田野町

安田町

北川村

馬路村

芸西村

平成30年12月策定

目 次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	
(1) 対象地域	1
(2) 計画期間	1
(3) 基本的な方向	1
(4) 広域化の検討状況	2
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標	
(1) 一般廃棄物等の処理の現状	2
(2) 一般廃棄物等の処理の目標	3
3. 施策の内容	
(1) 発生抑制、再使用の推進	4
(2) 処理体制	5
(3) 処理施設等の整備	6
(4) 施設整備に関する計画支援事業	6
(5) 廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業	6
(6) その他	7
4. 計画のフォローアップと事後評価	
(1) 計画のフォローアップ	7
(2) 事後評価及び計画の見直し	7
5. 様式	
様式 1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表 1	8
様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表 2 (平成 31 年度)	9
様式 3 地域の循環型社会形推進のための施策一覧	10
6. 参考資料様式	
参考資料様式 2 施設概要 (エネルギー回収施設系)	11
参考資料様式 7 計画支援概要	12
7. 別添資料	
別添資料 1 現有処理施設位置図	13
別添資料 2 現有処理施設の概要	14
別添資料 3 ごみの分別区分	17
別添資料 4 ごみの処理方法	26
別添資料 5 現状と将来のトレンドグラフ	29

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名	室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村
面積	1,128.51 km ²
人口	48,280 人

表 1 本地域の構成市町における人口と面積

市町村名	面積(km ²)	人口(人)
室戸市	248.18	13,608
安芸市	317.21	17,548
東洋町	74.06	2,513
奈半利町	28.36	3,244
田野町	6.53	2,657
安田町	52.36	2,728
北川村	196.73	1,315
馬路村	165.48	894
芸西村	39.60	3,773
合計	1,128.51	48,280

面積:平成28年10月1日現在

人口:平成30年3月31日現在

(2) 計画期間

本計画は、平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間を計画期間とする。なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本地域は高知県の東部に位置し、室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村の2市4町3村により構成されている。

本地域の可燃系ごみの処理は、安芸広域市町村圏事務組合の安芸広域メルトセンターにてガス化溶融しており、そこで発生するスラグ、メタル及び溶融飛灰は資源化している。一方、資源ごみ及び不燃系ごみの処理は、各構成市町村にてそれぞれ行っている。

室戸市及び東洋町は、芸東衛生組合にて処理を行っている。

安芸市は、安芸市一般廃棄物最終処分場（リサイクルプラザ）にて処理を行っている。

奈半利町及び田野町は、粗大ごみが奈半利町クリーンセンター不燃物処理場にて、資源ごみが中芸広域連合にて処理を行っている。

安田町は、ペットボトルが中芸広域連合にて、それ以外が業者委託にて処理を行っている。

北川村は、資源ごみの一部が業者委託にて、それ以外が中芸広域連合にて処理を行っている。

馬路村は、粗大ごみが安芸市一般廃棄物最終処分場（リサイクルプラザ）にて、資源ごみが中芸広域連合にて処理を行っている。

芸西村は、ペットボトルが芸西村の施設にて、それ以外が業者委託にて処理を行っている。

安芸広域メルトセンターは、定期的に点検・補修を行いながら処理を行ってきているが、供用開始から12年以上を経過したこともあり、老朽化が進行し、補修頻度が多くなっている状況にある。

以上から、安芸広域メルトセンターの基幹改良工事を行い、二酸化炭素ガスの発生抑制等地球温暖化防止に配慮した稼働が可能な施設改修を実施するとともに、施設の長寿命化を目指すものとする。

(4) 広域化の検討状況

本地域のごみ処理施設は、平成11年6月に策定された「高知県ごみ処理広域化計画」に示された「安芸広域ブロック」に位置付けており、広域化を推進している。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成29年度の一般廃棄物の排出・処理状況は図1に示すとおりである。

本地域全体でみると、総排出量は集団資源回収量も含めて17,677トンであり、再生利用される総資源化量は4,798トン、リサイクル率〔=(直接資源化量+中間処理後の再生利用量+集団回収量)/(ごみの総処理量+集団回収量)〕は27.1%である。

中間処理による減量化量は12,655トンであり、集団回収量を除いた排出量の約70%が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の1.3%に当たる224トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は15,766トン(焼却灰を除く)である。安芸広域メルトセンターでは発電及び温水利用等による余熱利用を行っている。

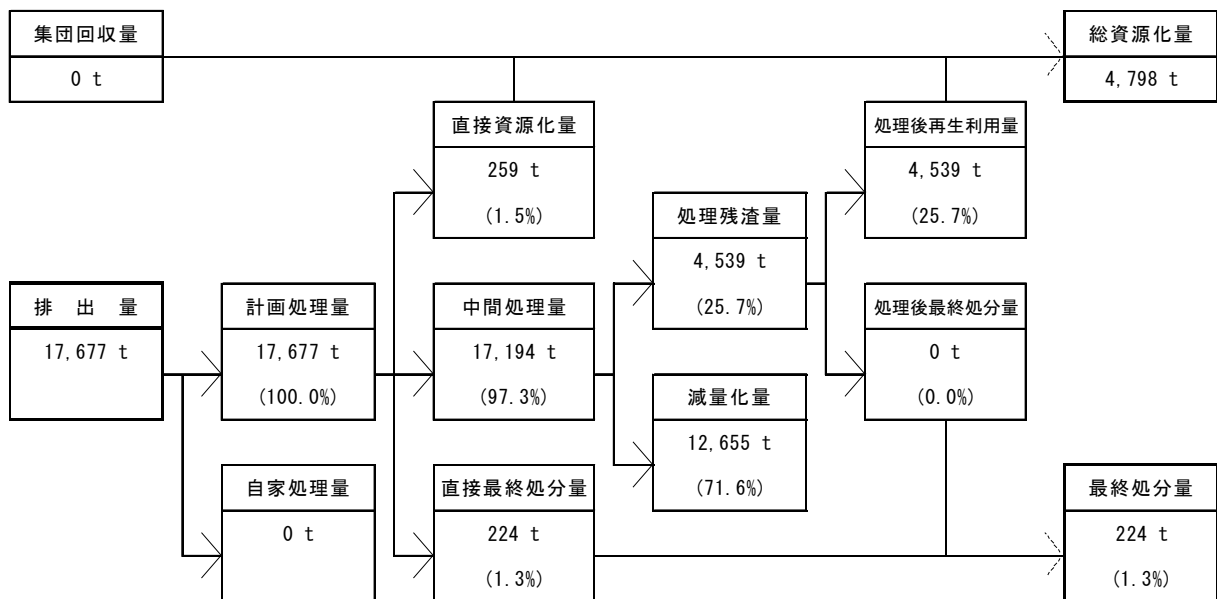


図1 一般廃棄物(ごみ)の排出・処理状況フロー(平成29年度)

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め、資源ごみの分別収集の徹底などにより循環型社会の実現を目指すものとし、それぞれの施策に取り組んでいく。

(表2及び図2)

表2 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状(割合※ ¹) (平成29年度)	目 標(割合※ ¹) (平成36年度)
排出量	事業系 総排出量	1,679 t	1,470 t (-12.4%)
	1事業所当たりの排出量※ ²	0.42 t/事業所	0.37 t/事業所 (-11.9%)
	生活系 総排出量	15,998 t	14,044 t (-12.2%)
	1人当たりの排出量※ ³	241 kg/人・年	228 kg/人・年 (-5.4%)
	合 計 事業系+生活系	17,677 t	15,514 t (-12.2%)
再生利用量	直接資源化量	259 t (1.5%)	240 t (1.5%)
	総資源化量	4,798 t (27.1%)	4,229 t (27.3%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量)	5,456 MWh	5,400 MWh
最終処分量	埋立最終処分量	224 t (1.3%)	188 t (1.2%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1人当たりの排出量) = {(生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

《用語の定義》

排 出 量: 事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く)[単位: トン]

再 生 利 用 量: 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位: トン]

エ ネ ル ギ ー 回 収 量: エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量[単位: MWh]

最 終 処 分 量: 埋立処分された量[単位: トン]

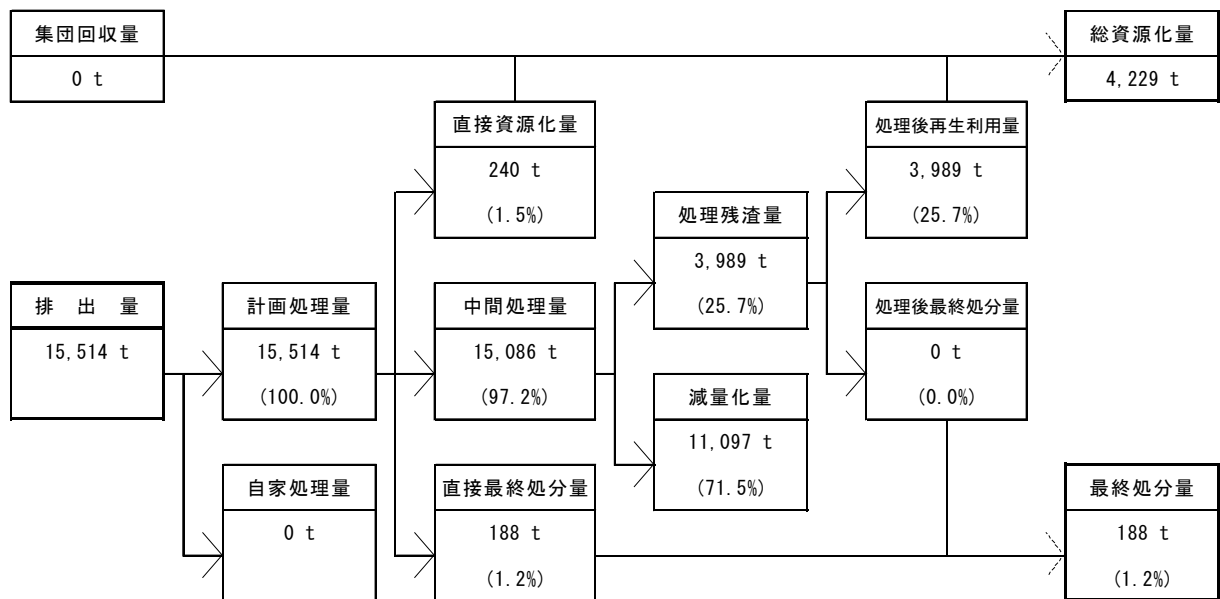


図2 目標達成時の一般廃棄物(ごみ)の排出・処理状況フロー(平成36年度)

3 施策の内容

(1)発生抑制、再使用の推進

ア 有料化（事業番号 1 1）

生活系の可燃系ごみについて、指定袋制を導入している。

直接搬入ごみや事業系ごみの処理手数料については、ごみ量の排出抑制効果や、周辺自治体の徴収料金の動向などを勘案しながら、適宜見直しを検討していく。

イ 環境教育、普及啓発、助成（事業番号 1 2）

環境教育では、小学生を対象としたごみ処理施設の見学などの環境教育を行っており、今後も継続していく。

普及啓発では、ごみ収集日程表やごみの出し方、環境活動やイベント情報、ごみ処理事業の状況などについて、広報・パンフレットやインターネット等を用いて、住民に積極的に情報提供を行い、ごみに関する問題意識の共有や理解の促進に努めていくものとする。

本地域の構成市町村のほとんどが、生ごみ処理容器等の購入に対して助成している。したがって、更なるごみの減量や資源化を推進していくために、今後も継続していくものとする。

ウ マイバッグ運動・レジ袋対策（事業番号 1 3）

買い物袋の持参を徹底するように啓発及び指導を行い、ごみの発生量を抑制するとともに、ごみの減量化の意識向上を図るものとする。

(2) 処理体制

ア 生活系ごみの処理体制の現状と今後（事業番号 2 1）

構成市町村における現状・将来の分別区分及び処理方法については、別添資料 3 及び 4 に示す。

今後は、本地域の可燃系ごみを処理する安芸広域メルトセンターの基幹改良工事を行い、二酸化炭素ガスの発生削減等地球温暖化防止に配慮した稼働が可能な施設改修を実施するとともに、ごみ処理施設の長寿命化を図る。

イ 事業系ごみの処理体制の現状と今後（事業番号 2 2）

事業系の廃棄物については、事業者の責任で処理することを基本としており、事業者がごみ処理施設に搬入する場合は、ごみ処理手数料を払うこととなっている。この体制を今後も継続していく。

ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現状は産業廃棄物の処理を行っておらず、今後も処理を行わない。

エ 今後の処理体制の要点

- ◇安芸広域メルトセンターの基幹改良工事を行い、二酸化炭素ガスの発生削減等地球温暖化防止に配慮した稼働が可能な施設改修を実施するとともに、ごみ焼却施設の長寿命化を図る。
- ◇今後も生活系ごみ及び事業系ごみは、分別を徹底し、リサイクルを推奨していく。
- ◇事業系ごみは、事業者の責任によって減量化及び資源化に取り組むよう啓発していく。

(3) 処理施設等の整備

前記(2)の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表3のとおり必要な施設整備を行う。

ア 廃棄物処理施設

安芸広域メルトセンターの老朽化に伴い、ストックマネジメント手法を用いた長寿命化総合計画に基づいた基幹改良工事を実施し、ごみ処理施設の長期使用と維持管理費の縮減、及び二酸化炭素の削減を図る。

表3 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	安芸広域メルトセンター	(仮称)安芸広域メルトセンター基幹改良工事	80t/24h	高知県安芸市伊尾木	H33~H35

(整備理由)

事業番号1 ごみ焼却施設の長寿命化及び温室効果ガス削減対策のため

(4) 施設整備に関する計画支援事業

事業番号1の整備に先立ち、表4のとおり計画支援事業を行う。

表4 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	施設整備に関する計画支援事業	長寿命化総合計画に基づく基幹改良工事に係る発注仕様書作成業務	H32

(5) 廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業

事業番号1の整備に先立ち、表5のとおり長寿命化総合計画策定支援事業を行う。

表5 実施する長寿命化総合計画策定支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
32	廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業	安芸広域メルトセンターに対する長寿命化総合計画の策定	H31

(6) その他

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 再生利用品の需要拡大事業（事業番号 4 1）

行政において、コピー用紙等の環境配慮型製品を率先して利用したり、再生利用品を積極的に利用するように、地域住民に対し、啓発活動を行っていく。

イ 廃家電のリサイクルに関する普及啓発（事業番号 4 2）

廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法に基づき、適切な回収及び再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、引き続き普及啓発を行っていく。

ウ 不法投棄対策（事業番号 4 3）

不法投棄増加による環境への悪影響は全国的な社会的問題であり、不法投棄場所のみではなく、その周辺地域の環境破壊が懸念される。

そのため、その対策として住民と行政が一体となった体制で監視し、地域住民からの通報の呼びかけを強化することで不法投棄の早期発見、未然防止を図っていくものとする。

エ 災害時の廃棄物処理に関する事項（事業番号 4 4）

災害時には、一度に多量の廃棄物が発生するため、周辺市町村や県及び国等との連携による処理体制の確保を図っていくものとし、他の地域において災害が発生したときには、速やかに支援が行えるような体制を構築していくものとする。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本地域では、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表 1

5. 様式

1 地域の概要

(1) 地域名	安芸広域地域	(2) 地域内人口	48,280人(平成30年3月31日現在)	(3) 地域面積	1,128.51 km ²
(4) 構成市町村等名	室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西市	(5) 地域の要件	人口 (面積) 沖 縄 離 島 奄 美 豪 雪 (山 村) 半 島 (過 疎) そ の 他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村:室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西市		設立(予定)年月日:平成2年7月1日		
	設立されていない場合、今後の見通し:				

※ 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○をつける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指 標・単 位	年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)					目 標
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成36年度
排 出 量	事業系 総排出量(トン)	2,093	2,530	1,886	2,006	1,679	1,470 (H29比-12.4%)
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	0.57	0.67	0.49	0.50	0.42	0.37
	生活系 総排出量(トン)	17,072	16,795	16,710	15,975	15,998	14,044 (H29比-12.2%)
	1人当たりの排出量(kg/人)	241	237	239	231	241	228
合 計	事業系生活系排出量合計(トン)	19,165	19,325	18,596	17,981	17,677	15,514 (H29比-12.2%)
再 生 利 用 量	直接資源化量(トン)	318 (1.7%)	298 (1.5%)	299 (1.6%)	282 (1.6%)	259 (1.5%)	240 (1.5%)
	総資源化量(トン)(集団回収量を含む)	4,989 (26.0%)	5,296 (27.4%)	5,150 (27.7%)	5,117 (28.5%)	4,798 (27.1%)	4,229 (27.3%)
エ ネ ル ギ ー 回 収 量	エネルギー回収量(年間の発電電力量 MWh)	6,030	6,304	5,789	5,632	5,456	5,400
減 量 化 量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	13,675 (71.4%)	13,724 (71.0%)	13,154 (70.7%)	12,680 (70.5%)	12,655 (71.6%)	11,097 (71.5%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量(トン)	501 (2.6%)	305 (1.6%)	293 (1.6%)	184 (1.0%)	224 (1.3%)	188 (1.2%)

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。

3 一般廃棄物施設の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容						備 考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)		
ごみ焼却施設	安芸広域市町村圏事務組合	直接熔融	有	80t/24h	H18.4	H36.4	施設の長寿命化による	直接熔融	H36.4	80t/24h	基幹的設備改良工事	
リサイクル施設	芸東衛生組合	破碎・選別	有	17t/5h	S58.2	(引き続き使用)						
リサイクル施設	安芸市	破碎・選別・圧縮	有	18.2t/5h	H15.4	(引き続き使用)						
リサイクル施設	中芸広域連合	破碎・選別・圧縮	有	4.68t/5h	H13.2	(引き続き使用)						
リサイクル施設	奈半利町	選別・圧縮	有	16t/8h	S63.6	(引き続き使用)						
リサイクル施設	芸西市	選別・圧縮	有	49.3kg/日	H12	(引き続き使用)						
最終処分場	芸東衛生組合	セル方式	有	19,800m ³	H8.4	(引き続き使用)						
最終処分場	奈半利町	セル方式	有	20,528m ³	H2.6	(引き続き使用)						
最終処分場	田野町	セル方式	有	7,000m ³	H13.3	(引き続き使用)						

様式2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表2（平成31年度）

事業種別 事業名称	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模		事業期間 交付期間		総事業費（千円）					交付対象事業費（千円）					備考		
			単位		開始	終了	H31	H32	H33	H34	H35	H31	H32	H33	H34	H35			
○エネルギー回収等に関する事業 (先進的設備導入事業)							3,500,000	0	0	350,000	1,750,000	1,400,000	2,100,000	0	0	210,000	1,050,000	840,000	
(仮称)安芸広域メルトセンター基幹改良工事	1	安芸広域市町 村圏事務組合	80	t/日	H33	H35	3,500,000			350,000	1,750,000	1,400,000	2,100,000			210,000	1,050,000	840,000	
○施設整備に関する計画支援に関する 事業	31	安芸広域市町 村圏事務組合			H32	H32	10,000		10,000				10,000		10,000				
○廃棄物処理施設における長寿命化総 合計画策定支援に関する事業	32	安芸広域市町 村圏事務組合			H31	H31	10,000	10,000					10,000	10,000					
合計							3,520,000	10,000	10,000	350,000	1,750,000	1,400,000	2,120,000	10,000	10,000	210,000	1,050,000	840,000	

様式3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		H31	H32	H33	H34	H35	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	生活系ごみの指定袋制を今後も継続する。直接搬入ごみや事業系ごみは、適宜見直しを検討する。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	継続実施					
	12	環境教育、普及啓発、助成	環境教育や普及啓発について、今後も継続していく。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	継続実施					
	13	マイバッグ・レジ袋対策	マイバッグ持参運動やレジ袋の削減の推進などに積極的に取り組んでいく。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	普及啓発					
処理体制の構築、変更に関するもの	21	生活系ごみの処理体制の現状と今後	今後も現在の分別区分及び処理方法を継続する。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	継続実施					
	22	事業系ごみの処理体制の現状と今後	事業系ごみの処理手数料の徴収を継続する。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	継続実施					
処理施設の整備に関するもの	1	安芸広域メルトセンター基幹改良工事	安芸広域メルトセンターの長寿命化及び温室効果ガス削減対策のため、基幹改良工事を実施する。	安芸広域 市町村圏 事務組合	H33	H35	○	基幹改良工事					
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	長寿命化総合計画に基づく基幹改良工事に係る発注仕様書等の作成を行う。	安芸広域 市町村圏 事務組合	H32	H32	○	実施					
廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援に関するもの	32	1の長寿命化総合計画策定支援	安芸広域メルトセンターに対する長寿命化総合計画を策定する。	安芸広域 市町村圏 事務組合	H31	H31	○	実施					
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	再生利用品の普及のため、地域住民に対し、啓発活動を実施する。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	継続啓発					
	42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	家電リサイクル法に基づき適正な回収や再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	継続普及					
	43	不法投棄対策	不法投棄に対する監視指導体制の拡充・強化を図る。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	継続実施					
	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	周辺市町村や県及び国等との連携による処理体制の確保を図る。	安芸広域 地域各市 町村	H31	H35	×	継続実施					

6. 参考資料様式

【参考資料様式2】

施設概要（エネルギー回収施設系）

都道府県名 高知県

(1) 事業主体名	安芸広域市町村圏事務組合
(2) 施設名称	安芸広域メルトセンター
(3) 工期	平成33年度～平成35年度
(4) 施設規模	処理能力 80t/日（40t/24時間×2炉）
(5) 形式及び処理方式	シャフト炉式（高温ガス化直接熔融炉）
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> （発電効率約12%） ・ 無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> （熱回収率約14%） ・ 無
(7) 地域計画内の役割	施設の長寿命化、温室効果ガスの削減対策 二酸化炭素削減率3%（予定）は、平成31年度に作成する長寿命化総合計画により決定
(8) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> （無）

「ごみ燃料化施設」を整備する場合

(9) 燃料の利用計画	
-------------	--

「メタン化ガス化施設」を整備する場合

(10) バイオガス 熱利用率	kWh/ごみt
(11) バイオガスの 利用計画	

(12) 事業計画額	3,500,000千円
------------	-------------

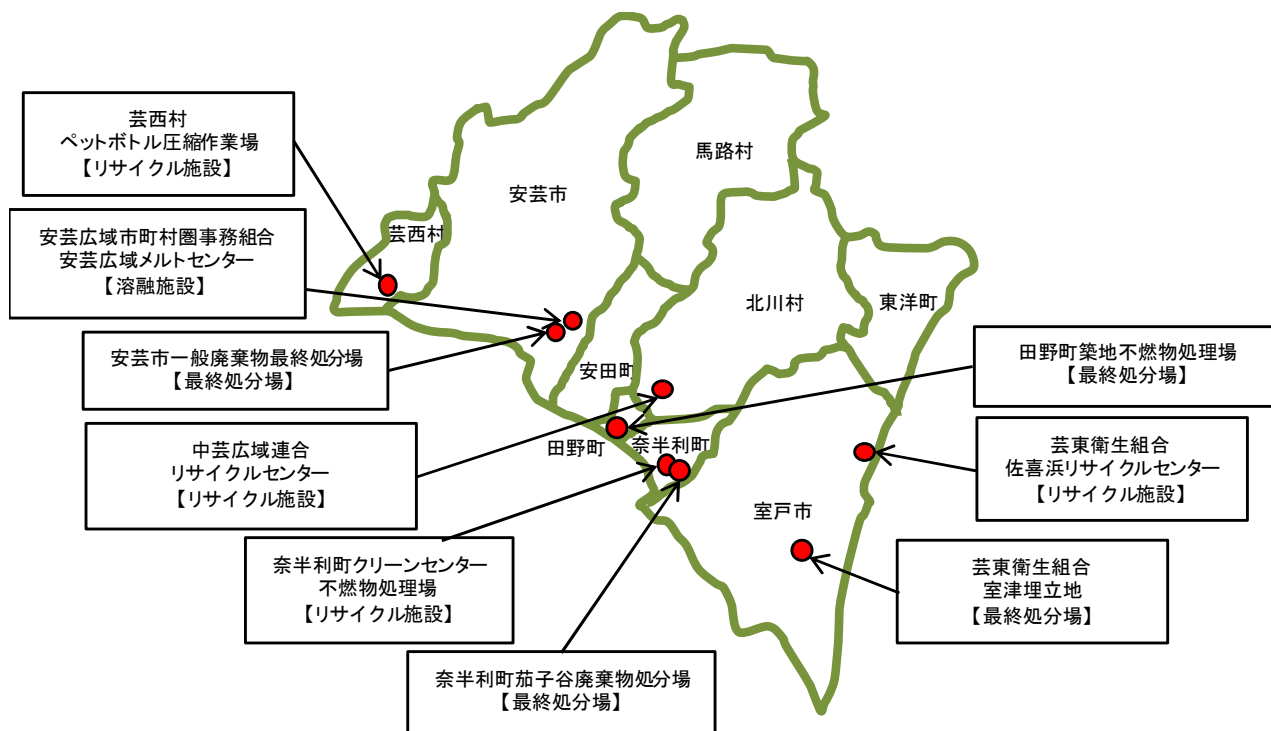
計画支援概要

都道府県名 高知県

(1) 事業主体名	安芸広域市町村圏事務組合		
(2) 事業目的	安芸広域メルトセンター（基幹改良工事）の施設整備のため		
(3) 事業名称	施設整備に関する計画支援事業	廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業	
(4) 事業期間	平成32年度	平成31年度	
(5) 事業概要	見積仕様書、比較検討書、発注仕様書等作成	長寿命化総合計画の作成	
(6) 事業計画額	10,000千円	10,000千円	

7. 別添資料

別添資料1 現有処理施設位置図



別添資料2 現有処理施設の概要

①溶融施設

項目	内容
施設名称	安芸広域メルトセンター
施設所管	安芸広域市町村圏事務組合
所在地	安芸市伊尾木黒瀬谷山奥4034-1他
敷地面積	17,823.98m ²
稼働開始	平成18年4月
処理能力	80t/24h (40 t/24h×2基)
処理方式	直接溶融・資源化システム
余熱利用	蒸気タービン発電〔定格1,700kw〕
粗大ごみ粗破砕機	4t/h
処理対象物	資源ごみを除く可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、汚泥
溶融物利用	溶融物(スラグ、メタル)は、全量を資源として利用

②リサイクル施設

項目	内容
施設名称	佐喜浜リサイクルセンター
施設所管	芸東衛生組合(室戸市・東洋町)
所在地	高知県室戸市佐喜浜町3966-1
竣工	昭和58年2月
処理能力	空缶処理設備:8t/日、破砕設備:4t/日、切断設備:5t/日
建物	処理棟:204m ² 、管理棟:32m ² 、車庫:56m ²
設備内容	◎選別圧縮設備 破砕機で鉄類とアルミ類に選別し、圧縮形成する ◎粗大ごみ切断機・破砕機 廃材、たたみ、机などの大型ごみを切断する

項目	内容
施設名称	ペットボトル処理施設
施設所管	芸東衛生組合(室戸市・東洋町)
所在地	室戸市佐喜浜町3370-1
建設年度	平成10年1月
処理能力	100kg/h
敷地面積	558m ²

項目	内容
施設名称	安芸市一般廃棄物最終処分場（リサイクルプラザ）
施設所管	安芸市
所在地	安芸市伊尾木字黒瀬谷山奥下藻モ 4035-イ
稼働開始	平成7年4月
主要設備	不燃性粗大ごみ破砕機 4.8t/日 可燃性粗大ごみ破砕機 0.2t/日 自動選別缶圧縮機 1.2t/日 ペットボトル圧縮梱包器 0.2t/日 紙布類ストックヤード ビンストックヤード
その他	蛍光灯破砕機、スチロールポストを設置

項目	内容
施設名称	中芸広域連合リサイクルセンター
施設所管	中芸広域連合（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）
所在地	高知県安芸郡北川村大字長山 3-15
敷地面積	2.685m ²
竣工	平成13年2月
施設規模	4.68t/5h

項目	内容
施設名称	奈半利町クリーンセンター
施設所管	奈半利町
所在地	高知県安芸郡奈半利町乙 2104 番地
竣工	昭和63年6月
施設規模	16t/8h

項目	内容
施設名称	ペットボトル圧縮作業場
施設所管	芸西村
所在地	高知県安芸郡芸西村和食 1 2 5 3 -イ
竣工	平成12年
施設規模	49.3kg/日

③最終処分場

項目	内容
施設名称	室津埋立地
施設所管	芸東衛生組合（室戸市・東洋町）
所在地	室戸市領家
竣工年度	平成8年4月
埋立面積	4,730m ²
埋立容量	19,800m ³
埋立対象物	家庭系ごみのうち、瓦、ブロック、土砂

項目	内容
施設名称	奈半利町茄子谷廃棄物処分場
施設所管	奈半利町
所在地	安芸郡奈半利町茄子谷
竣工年度	平成2年6月
埋立面積	4,500m ²
埋立容量	20,528m ³
埋立対象物	家庭系ごみのうち、瓦、ブロック、土砂

項目	内容
施設名称	田野町築地不燃物処理場
施設所管	田野町
所在地	安芸郡田野町築地
竣工年度	平成13年3月
埋立面積	960m ²
埋立容量	7,000m ³
埋立対象物	不燃物、その他

別添資料3 ごみの分別区分

①室戸市

区分		内容	収集頻度	出し方
一般ごみ		残飯類・紙オムツ・貝・生ごみ・紙くず・生理用品・髪の毛・木くず・小枝・プラスチック・テープ類、ビニール類など	週2回	指定袋
資源ごみ	缶	スチール缶・アルミ缶・ミルク缶・のり缶・その他缶詰めなど	週1回	指定カゴ
	ビン	飲料用・薬品用・酒類のびんなど	月2回	指定カゴ
	紙	新聞紙・雑誌・本・ダンボール・紙パックでリサイクル可能なもの		ひもで束ねるか透明袋に入れる
	布	汚れや水濡れがないものに限る		収集袋
	ペットボトル	飲料用、調味料用ペットボトル		トタン・ブリキ類はひもで束ねる
	金属	自転車・ブリキ・トタン類・石油ストーブ・スプレー缶・その他金属類		
粗大ごみ	粗大	傘・割れた食器・テープ類・ゴム靴等	月1回	指定袋
	大型	タンス・机・長いすなどの大型ごみ	週1回	シール
有害ごみ	乾電池	単1・単2・単3・単4乾電池	月2回	透明袋
	蛍光灯	丸管・直管・電球型蛍光灯		購入時のケースに入れるか透明ポリ袋に入れる
埋立ごみ		瓦・ブロック・土砂など		
収集できないもの		消火器・自動車類（本体・部品・タイヤ・ホイール・バッテリー等。） テレビ・エアコン・洗濯機・衣料乾燥機・冷蔵庫・冷凍庫・パソコン		

②安芸市

区分		収集回数・方法	収集容器等	収集方法	
資源ごみ	缶	アルミ缶	週1回 (中郷地区は月1回) ステーション方式	空き缶専用袋	資源化
		スチール缶			
		その他の缶			
	ビン	生きビン	2週間に1回 (畑山・尾川、東川地区は週1回、中郷地区は月1回) 拠点方式	原則として、プラスチックコンテナ	資源化
		無色透明			
		茶色			
		その他の色			
ペットボトル		週1回 (中郷地区は月1回) ステーション方式	ペットボトル専用袋	資源化	
紙類	紙パック	週1回 (中郷地区は月1回) ステーション方式	紐で縛って出す	資源化	
	新聞・チラシ				
	雑誌・本		紐で縛るか紙袋に入れて出す	資源化	
	ダンボール				
雑がみ					
古着・古布		拠点方式	紐で縛るか市販のビニール紙袋に入れて出す	資源化	
一般ごみ		週2回 ステーション方式及び 戸別方式	指定袋	溶融処理	
金属ごみ		2週間に1回 (畑山・尾川、東川地区は週1回、中郷地区は月1回) 拠点方式	指定袋	資源化	
水銀を含む有害ごみ		2週間に1回 (畑山・尾川、東川地区は週1回、中郷地区は月1回) 拠点方式	原則として、プラスチックコンテナ	資源化	

③東洋町

区分		内容	収集頻度	出し方
一般ごみ		残飯類・紙おむつ・生ゴミ・紙くず・生理用品・小枝・プラスチック・テープ類・ビニール類・割れた食器・ゴム靴等	週3回	指定袋
資源ごみ	紙類	新聞紙・雑誌・ダンボール・紙パック等	月2回	新聞紙・雑誌・ダンボールは種類ごとにヒモで十字に縛る。 チラシはチラシのみで束ねる。 紙パックは洗って切り開いたものを紐で縛る。
	布類	汚れていない衣類・着物・タオル・皮革衣類等		ヒモで十字に縛る。
	金属類	自転車・ブリキ・トタン類等の金属製のもの		トタン・ブリキ類は120cm以内に切り出してヒモで束ねる。
	びん類	生びん（一升びん・ビールびん・牛乳びん等）、駄びん（透明・茶・その他）、ガラスびん等		生びんは販売店に返却その他のびんは透明・茶・その他に分けて出す。
	ペットボトル類	飲料用、酒類、焼酎、みりん、しょう油等のペットボトル容器類		専用袋に入れる。
	缶類	スチール缶・アルミ缶・スプレー缶、飲料用缶、のり・茶・ミルク缶など	週1回	空き缶専用かごに入れる。
有害ごみ		乾電池、蛍光管、電球、体温計など	月2回	水銀体温計、乾電池は透明ポリ袋に入れる。 蛍光管は購入時のダンボールケースに入れるか透明ポリ袋に入れる。
大型粗大ごみ		タンス、机、長いす、ソファなどの一般ごみ指定袋に入らないもの	週1回 (電話予約)	町が自宅で収集 町指定シールを購入し、貼付け大きさにより、1,000円、800円、500円に区分
埋立ごみ		瓦、ブロック、土砂など	-	直接搬入

④奈半利町

区分		内容	収集頻度	出し方
一般ごみ		生ごみ、写真フィルム、オムツ、紙ごみ、グローブ・バッグ、少量の木切れ、発泡スチロール・靴等、おもちゃ・プラ製品、主にプラでできている電化製品、陶器、ガラス製品、化粧品・油のビン	週2回	指定袋
金属ごみ		小さな金属類、鍋・やかん・フライパンなどの金属製品、主に金属でできている電化製品	月2回	指定カゴ
粗大ごみ		指定袋・指定カゴに入らない物、一辺の長さが80センチを超える物	月2回	そのまま
有害・危険ゴミ		蛍光灯、ライター・スプレー缶、乾電池	月2回	指定カゴ
資源ごみ	カン	飲料缶、茶缶・海苔缶、缶詰、菓子缶、ミルク缶等	月2回	指定カゴ
	ビン	無色ビン、茶色ビン、その他ビン	月2回	
	ペットボトル	リサイクルマークのあるペットボトル	月2回	指定ネット
	その他プラスチック	トレイ類、袋・ラップ類、パック・カップ類、プラスチック製ボトル、チューブ類、その他	週2回	
	紙・古着	新聞、雑誌・本・雑紙、厚紙・ダンボール、紙パック、布類	月2回	
収集しないごみ		ブラウン管・液晶・プラズマテレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン・室外機、ドラム缶、バッテリー、消火器、パソコン、車、バイク、医療機器、タイヤ、農業用製品、農薬、農機具、ガスボンベ、ピアノ		
埋立ごみ		瓦、ブロック、土砂など	—	直接搬入

⑤田野町

区分		内容	収集頻度	出し方
一般ごみ	燃える物	生ごみ・紙くず	週2回	指定袋
	雑ごみ	汚れのひどいビニール・プラスチック類やゴム類等、陶磁器、ガラス製品、電球など		
不燃ごみ	燃えない物	金属、粗大ゴミ	月2回	カゴ
	有害ごみ	乾電池・鏡・使い捨てライター・蛍光灯・スプレー缶・体温計		
リサイクルごみ	ビン	飲料用		
	カン	飲料用		
	ペットボトル	清涼飲料・酒類・醤油の3種類	指定ネット袋	
	資源プラ	ペットボトル以外のプラスチック容器包装類	指定ネット袋	
資源ごみ	古紙類	新聞紙(チラシを含む)・ダンボール・雑誌・衣類	月1回	ひもで束ねる
直接持込み		大量の粗大ゴミ、引越し等での大量ごみ		
処理収集しない物		テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機、エアコン、パソコン、車、バイク、タイヤ、バッテリー、ドラム缶、消火器、ガスボンベ、ピアノ、医療機器、農薬、農業用製品、農機具等		

⑥安田町

区分		内容	収集頻度	出し方
一般ごみ	可燃ごみ	生ごみ、少量の木の枝、おむつ等	週2回	指定袋
	雑ごみ	容器包装以外のプラスチック類、ビニール類、陶器、ガラス、ゴム類、少量の金属（スプーン等）、小型家電製品（プラスチック部分の多いもの）		
金属ごみ		なべ、やかん、金属製品、リサイクルできない缶製品等、小型家電製品（金属部分の多いもの）	月1回	透明及び半透明の袋
有害・危険ごみ		蛍光灯、電池、体温計、ライター（使い捨て）	月1回	蛍光灯は割れないように出す 割れたものは危険の無いように袋に入れる
資源ごみ	ビン	飲料用、食料用びん	月2回	コンテナ
	カン	飲料用、食料用缶のマークのあるもの		
	ペットボトル	飲料用、酒、みりん、醤油用などマークのあるもの全て		
	プラスチック製容器包装（その他プラスチック）	プラスチック製容器包装のマークがあるもの全て	月1回	指定ネット袋
	紙類・布類・段ボール	新聞紙、チラシ、雑誌、段ボール、牛乳パック、衣類		
粗大ごみ		自転車、机、ベッド、タンス、ふとん、毛布、大型家電製品（市販の袋に入らない大きさ又は袋が破れる重たいもの）	直接搬入	
収集しないごみ		家電リサイクル品目、処理困難物・危険物、パソコン、一時大量物		

⑦北川村

区分		内容	収集頻度	出し方
一般ごみ	可燃ごみ	生ごみ、少量の木の枝、紙おむつ等	週1～2回	指定袋
	雑ごみ	容器包装以外のプラスチック類、ビニール類、陶器、ガラス製品、小型電化製品（指定袋に入るもの）、電球、包丁、鎌、油用のびん・プラスチックボトル		
金属ごみ		なべ、やかん、金属製品、針金、リサイクル以外の缶等		
有害・危険ごみ		蛍光灯、乾電池、体温計（水銀不使用）、ライター		透明のビニール袋（蛍光灯はできれば購入時の箱に入れて出す）
粗大ごみ	可燃性	木製机、タンス、じゅうたん等	直接搬入（安芸広域メルトセンター）	
	不燃性	自転車、トタン等	直接搬入（長山ごみ処理場）	
資源ごみ	プラスチック製容器包装（その他プラスチック）	プラスチック製容器包装のマークがあるもの	月1～2回※	指定ネット袋
	ペットボトル	飲料用、酒、みりん、醤油用		
	空きびん	飲料用、食料用		コンテナ
	空き缶	飲料用、食料用		
	紙類・古着	新聞紙、雑誌、段ボール、厚紙、牛乳パック、衣類、カーテン、毛布等	週1～2回	紙類はひもで束ね、古着は透明のビニール袋に入れる
収集しないごみ		リサイクル家電、処理困難物・危険物、パソコン、一時大量物		

⑧馬路村

区分		内容	収集頻度	出し方
一般ごみ	可燃物	生ごみ、紙、木くず、電球、ガラス製品、食器等	週3回	指定袋
リサイクルごみ	ビン	ジュース・ワイン等食品類のビン	月2回	ごみ箱に設置の専用袋に入れる
	カン	缶詰・缶ジュース等食品類のカン		透明または半透明のビニール袋
	ペットボトル	清涼飲料水・酒類・醤油等の容器		油が入っていた容器
	廃食油	食用油		透明または半透明のビニール袋
	金属類	石油ストーブ・トースターなどの金属製家庭用小型家電製品		透明または半透明のビニール袋
	紙・布類	新聞紙・チラシ、本・雑誌、段ボール、ぼろ布類、書類	月1回	ひもで十字に束ねる
有害物		蛍光灯、電池、ライター、温度計、体温計、スプレー缶	月1回	蛍光管はひもで束ねる
粗大ごみ	金属類	金属製品全般、調理器具、自転車	週2回	トタンは1.8m×0.9m以内で持てる程度に束ねる 布団・毛布はひもで十字に束ねる
	非金属	タンス、布団、じゅうたん、畳、廃材、プラスチック製品（指定袋に入らない物）		
	一時大量物	引っ越しごみ・家屋改修、解体		

⑨芸西村

区分	内容	収集頻度	出し方
燃えるごみ	プラスチック類・ビニール類・貝殻・かばん・紙おむつ・ぬいぐるみ	週3回	指定袋
生ごみ	野菜くず・魚・卵のから・残飯		中の見える袋
紙類	新聞紙・チラシ・雑誌・紙箱・ダンボール・リサイクルマークの付いたもの	週1回	ひもで束ねるか中の見える袋
布類	衣類・タオル・シーツ類・毛布・カーテン		ひもで束ねるか中の見える袋
ペットボトル	リサイクルマークの付いたもの		ステーションの回収袋か中の見える袋
カン・金物類	スチール缶・アルミ缶・スプレー缶・傘・鍋等	月2～3回	中の見える袋
乾電池	乾電池		
ビン類	飲料用、食品用のビン	月2回	指定袋
ガラス陶磁器類	ガラス食器・化粧ビン・薬品ビン・鏡・陶磁器類		中の見える袋
蛍光管類	蛍光灯・蛍光ランプ・電球・体温計（水銀）		中の見える袋
廃食用油	てんぷら油・植物性油で液状の物	月1回	中の見えるフタ付ボトル
粗大ごみ	自転車・扇風機・掃除機・炊飯器・家具・布団・じゅうたん・電気カーペット	直接持ち込み	
収集できない物	車体及び部品・消火器・畳・瓦・物置・農業用資材・コンクリートブロック・ソーラー温水器、資源有効利用促進法に基づくパソコンリサイクル、家電リサイクル法に基づく家電製品		

別添資料4 ごみの処理方法

①室戸市

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
一般ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	3,677
粗大ごみ			241
資源ごみ	リサイクル	芸東衛生組合 リサイクルセンター	639
ペットボトル	リサイクル	芸東衛生組合 ペットボトル施設	
埋立ごみ	埋立	芸東衛生組合 室津埋立地	54

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
一般ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	3,112
粗大ごみ			231
資源ごみ	リサイクル	芸東衛生組合 リサイクルセンター	512
ペットボトル	リサイクル	芸東衛生組合 ペットボトル施設	
埋立ごみ	埋立	芸東衛生組合 室津埋立地	47

②安芸市

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
一般ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	5,009
不燃ごみ	リサイクル	安芸市一般廃棄物 最終処分場	58
資源ごみ			903
粗大ごみ			450

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
一般ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	4,397
不燃ごみ	リサイクル	安芸市一般廃棄物 最終処分場	57
資源ごみ			863
粗大ごみ			275

③東洋町

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
一般ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	841
粗大ごみ			0
資源ごみ	リサイクル	芸東衛生組合 リサイクルセンター	98
ペットボトル	リサイクル	芸東衛生組合 ペットボトル施設	
埋立ごみ	埋立	芸東衛生組合 室津埋立地	2

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
一般ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	626
粗大ごみ			0
資源ごみ	リサイクル	芸東衛生組合 リサイクルセンター	107
ペットボトル	リサイクル	芸東衛生組合 ペットボトル施設	
埋立ごみ	埋立	芸東衛生組合 室津埋立地	2

④奈半利町

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	熔融	安芸広域メルトセンター	1,053
粗大ごみ	リサイクル	奈半利町クリーンセンター 不燃物処理場	1
資源ごみ		中芸広域連合 リサイクルセンター	195
コンクリートがら	埋立	茄子谷廃棄物処分場	17

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	熔融	安芸広域メルトセンター	949
粗大ごみ	リサイクル	奈半利町クリーンセンター 不燃物処理場	1
資源ごみ		中芸広域連合 リサイクルセンター	167
コンクリートがら	埋立	茄子谷廃棄物処分場	15

⑤田野町

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	熔融	安芸広域メルトセンター	826
粗大ごみ	リサイクル	奈半利町クリーンセンター 不燃物処理場	35
資源ごみ		中芸広域連合 リサイクルセンター	356
コンクリートがら	埋立	築地不燃物処理場	152

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	熔融	安芸広域メルトセンター	782
粗大ごみ	リサイクル	奈半利町クリーンセンター 不燃物処理場	35
資源ごみ		中芸広域連合 リサイクルセンター	363
コンクリートがら	埋立	築地不燃物処理場	155

⑥安田町

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	熔融	安芸広域メルトセンター	652
資源ごみ	リサイクル	中芸広域連合 リサイクルセンター ・ 処理業者	56
粗大ごみ			64
その他ごみ			1

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	熔融	安芸広域メルトセンター	569
資源ごみ	リサイクル	中芸広域連合 リサイクルセンター ・ 処理業者	50
粗大ごみ			46
その他ごみ			1

⑦北川村

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	熔融	安芸広域メルトセンター	267
不燃ごみ	リサイクル	中芸広域連合 リサイクルセンター	12
資源ごみ			52
がれき類	仮置場	長山処分場	1

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	熔融	安芸広域メルトセンター	229
不燃ごみ	リサイクル	中芸広域連合 リサイクルセンター	10
資源ごみ			45
がれき類	仮置場	長山処分場	1

⑧馬路村

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
一般ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	418
粗大ごみ	リサイクル	安芸市一般廃棄物最終処分場	2
資源ごみ		中芸広域連合リサイクルセンター	57

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
一般ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	382
粗大ごみ	リサイクル	安芸市一般廃棄物最終処分場	2
資源ごみ		中芸広域連合リサイクルセンター	53

⑨芸西村

現状(平成29年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	1,298
粗大ごみ	リサイクル	処理業者	102
資源ごみ			226
ペットボトル		芸西村ペットボトル圧縮作業施設	

今後(平成36年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)
可燃ごみ	溶融	安芸広域メルトセンター	1,263
粗大ごみ	リサイクル	処理業者	104
資源ごみ			202
ペットボトル		芸西村ペットボトル圧縮作業施設	

別添資料5 現状と将来のトレンドグラフ

